

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

豊川市地域公共交通会議

【協議会】

平成21年2月13日設置

【全体計画】

平成23年3月 豊川市地域公共交通総合連携計画 策定

平成28年3月 豊川市地域公共交通網形成計画 策定

【フィーダー系統】

平成30年6月 豊川市生活交通確保維持改善計画 策定

(1)地域の特性

豊川市コミュニティバスは、合併した旧1市4町の地域の平準を図る目的で、平成23年11月に9路線で運行を開始。平成24年10月に1路線加え、今日に至るまで10路線で市内の移動手段を確保。

(2)基本方針

- ①市域全体の一体性を高める路線と地域に合った路線を、それぞれの役割に応じたサービスで運行
- ②公共交通の利便性を高め、移動制約者が移動しやすい交通体系
- ③行政、交通事業者、市民・地域・利用者が、それぞれの役割により協働で公共交通を支える仕組みづくり
- ④定期的な公共交通の評価の実施、継続的な路線の見直し・改善

豊川市内 鉄道・バス路線の概要図



※ (地域間幹線系統補助対象路線)
 豊鉄バス新豊線・豊川線
 (フィーダー系統補助対象路線)
 豊川国府線・千両三上線・ゆうあいの里小坂井線・音羽線・御津線・本宮線のんほい号

【利用促進策】

(1) 標準的なバス情報フォーマット作成

- ・豊川市単独予算で、豊川市コミュニティバスだけでなく、豊鉄バス新豊線・豊川線(幹線)のGTFSデータ作成に着手。令和2年3月公開予定。

(2) 夏休み路線バス探検キャラバン

- ・令和元年8月、小学生以下とその保護者を対象とした豊鉄バス(幹線)の体験乗車会やバスとの綱引き対決など、バスに親しむイベントを実施。

(3) 夏休み小学生50円バス

- ・運行事業者及び東三河8市町村と連携し、夏休み期間中の小学生のバス運賃を一律50円とするキャンペーンを実施。

(4) 豊鉄バス(幹線)の地域密着型時刻表配布協力

- ・豊鉄バスが作成した地域密着型時刻表について、本市でも積極的に配布協力。

(5) 豊川市コミュニティバス体験乗車会・乗り方教室

- ・令和元年5月、豊川市民まつり「おいでん祭」でコミュニティバス体験乗車会を新規実施。



夏休み路線バス探検キャラバン
豊鉄バスとの綱引き対決の様子



ハートフル号を使用した
体験乗車会の様子

【調査・検討】

(1) デマンド型交通への転換シミュレーション

- ・既存バス路線をデマンドタクシーに転換した場合の収支シミュレーションを実施。

(2) 睦美・三上デマンドタクシー実証実験運行

- ・本市におけるデマンド型交通導入の可能性について調査することを目的とした実証実験運行を開始。(期間: 令和元年10月～令和2年3月)

(3) 地域公共交通網形成計画(令和3年度更新)

- ・現在の豊川市地域公共交通網形成計画(計画期間: 平成28年～令和2年度)と路線の評価を実施し、次期計画と路線の方針を整理。

(1) 評価の考え方、スケジュール

① 毎年の基幹路線の評価

- ・運行ダイヤ、運行ルート、バス停位置等の軽微な見直しを目的とする評価は、利用者数、収支率実績で評価・改善。

② 抜本的な改善のための基幹路線の評価

- ・サービス水準も含む運行ルートの見直しを目的とした評価は、スケジュールに基づき令和元年度に実施。利用者数、収支率実績及び平成30年度に実施したアンケート調査結果に基づき、総合的に評価・改善。

③ 毎年の地域路線の評価

- ・利用者数、収支率実績で評価・改善。

(形成計画で定める評価・改善スケジュール)

実施項目	年度				
	H28	H29	H30	R元	R2
公共交通会議	●	●	●	●	●
日常的利用者数調査	●	●	●	●	●
詳細な利用者数調査			●		
利用者アンケート			●		
市民アンケート			●		
基幹路線の評価				●	
基幹路線の改善	□	□	□	□	□
地域路線の評価・改善	□	□	□	□	□
その他各事業の評価・改善	□	□	□	□	□
計画の評価					●

● : 実施 □ : 必要に応じて適宜実施

(2) 形成計画の数値目標及び実績

形成計画で定める数値目標		平成30年度 目標	平成30年度 実績 (達成度)	令和2年度 計画最終年度 目標
目標1	市内を運行するバス路線の利用者数の増加	12万人/年	10.4万人 (87%)	13万人/年
目標2	公共交通の利便性の市民満足度の向上	51%	40.2% (79%)	52%
目標3	地域主体で検討したバス路線の運行実施地域数の増加	5地域	4地域 (80%)	6地域
目標4	市内を運行するバス路線の収支率の向上	16%	11.4% (71%)	17%

(考察) 特に達成度の低い収支率の数値目標について、運転手不足等を背景とした運行経費の上昇を少しでも抑制するため、効率的な路線構築に向けた検討が必要。

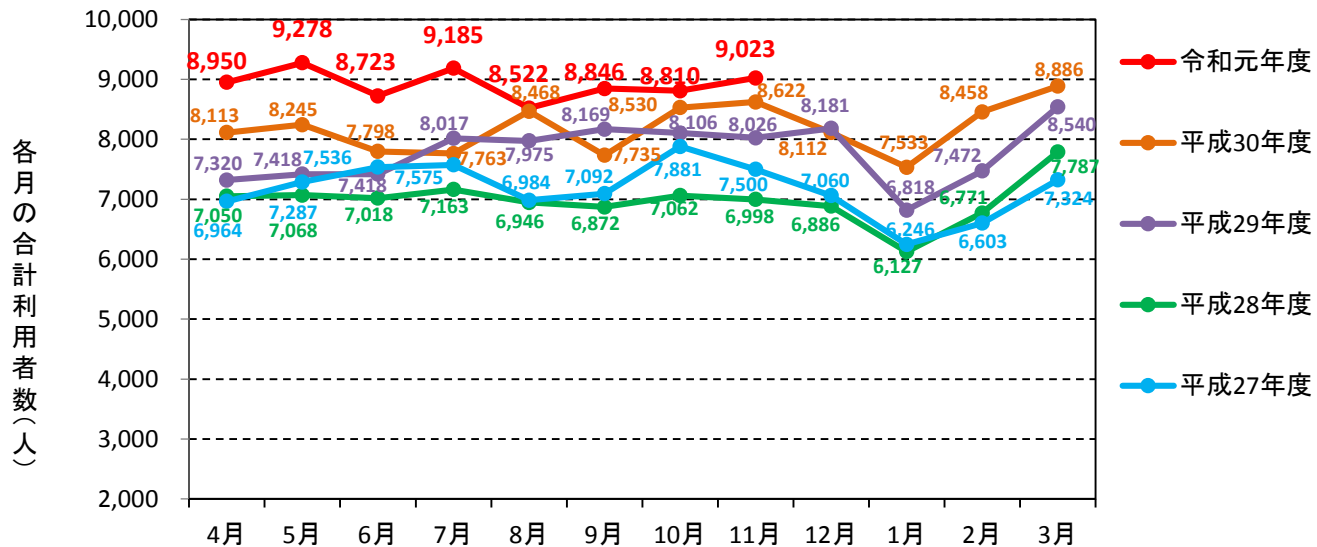
(2) 路線別の形成計画の数値目標及び実績

(豊川市コミュニティバス 令和2年度(計画最終年度)利用者数及び収支率目標達成度)

路線	沿線人口 合計 A (人)	日平均 利用者実績 B (人/日)	利用率 C=B/A (%)	(※) 利用人数 目標達成度 D=C/O.34% (%)	収支率 E (%)	収支率 目標達成度 F=E/17% (%)
豊川国府線	27,163	31	0.11%	34%	8.5%	50%
千両三上線	12,347	34	0.28%	81%	16.9%	99%
ゆうあいの里小坂井線	28,325	33	0.12%	34%	15.8%	93%
一宮線	12,959	39	0.30%	89%	9.4%	55%
音羽線	24,837	33	0.13%	39%	13.6%	80%
御津線	21,898	24	0.11%	32%	9.5%	56%
つつじバス	4,838	27	0.56%	164%	13.0%	76%
ハートフル号	13,225	11	0.08%	24%	4.4%	26%
本宮線のんほい号	11,458	27	0.24%	69%	8.4%	50%
ごゆりんバス	7,809	22	0.28%	83%	12.4%	73%
全体	110,548	281	0.25%	75%	11.4%	67%

(※) 路線沿線人口に差があるため、沿線人口あたりの日平均利用率達成度で評価。計画最終年度における利用者数目標13万人を達成するためには、沿線人口あたり日平均利用率 **0.34%** の達成が必要。

(豊川市コミュニティバス 全10路線の利用者数推移)

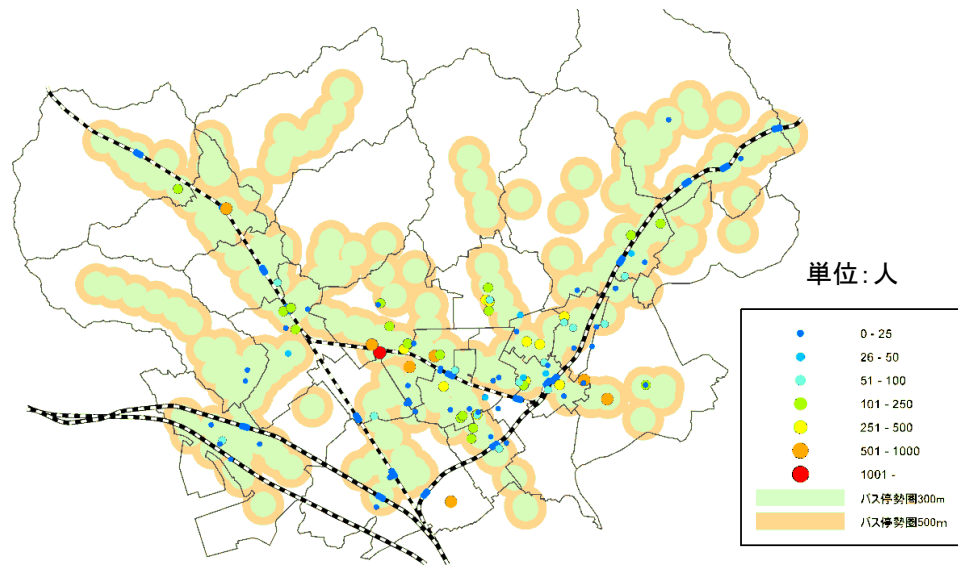


(3) アンケート調査結果に基づく路線ネットワーク全体の評価

① バス路線と移動ニーズ(目的地)の評価

- ・バス路線のバス勢圏(半径300~500m)内に、概ね8割超の移動ニーズ(目的地)が含まれている。

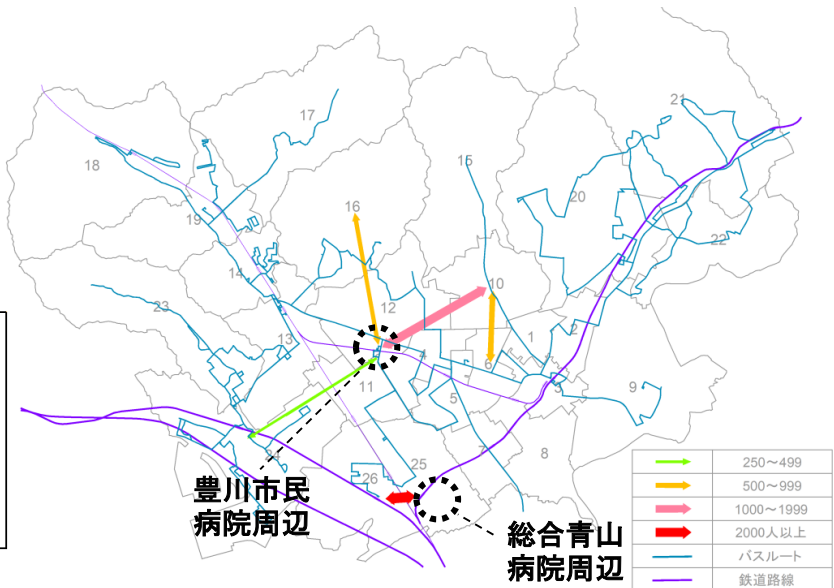
【(例)バス勢圏とよく行く病院の抽出】



② バス路線と移動ニーズ(ベクトル)の評価

- ・バス路線のベクトルと移動ニーズのベクトルの向きは、一部一致していないものの、乗り継ぎや病院の無料巡回バスで行くことが可能。

【バスで直接移動できない移動ニーズの抽出】



(4) アンケート調査結果に基づく市民・地域・利用者視点(中学校区別)の全体的な評価

- ・「運行本数」、「乗継利便性」に対する不満が目立っていた。(特に市中心部以外の中学校区)
- ・バス路線維持のための税金負担の考え方は、現状並みがよいとする意見が目立っていた。

(考察) 現行の税金負担範囲内で、乗継の利便性を確保しつつ、市中心部以外の中学校区での増便を意識し、幹線とフィーダー系統の並走解消や利用率の低い区間の減便や廃止の検討が必要。

【課題】

1. 現在の市内バス路線網の骨格は移動ニーズに概ね合致しているものの、利用者数及び収支率目標の達成度合いは路線ごとに差があり、バスに対する意識は中学校区ごとに差がある。
2. バス路線維持のための税金負担について、現状並みが良いとする意見が多くを占めるなかで、「運行本数」や「乗継の利便性」に対する不満が、特に市中心部以外の中学校区で目立っている。

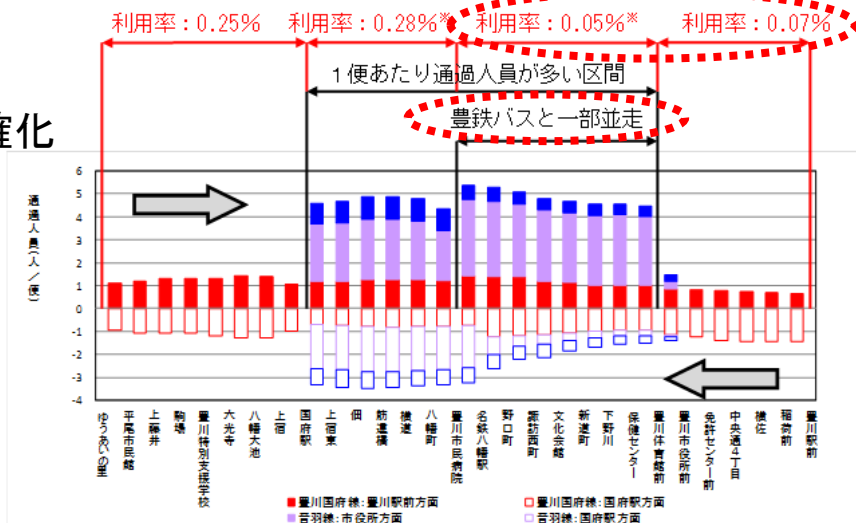


【対応方針】

1. 路線ごとに目標達成度合いが異なることから、市内バス路線網の骨格を維持しつつ、中学校区ごとの不満を加味しながら、達成度合いに応じた見直しを実施。
(例:「目標達成度が高い路線は軽微な見直し」、「目標達成度が低い路線は大幅見直し」など)
2. 現行の税金負担範囲内で、乗継の利便性を確保しつつ、市中心部以外の中学校区での増便を意識し、幹線とフィーダー系統の並走解消や利用率の低い区間の減便や廃止を検討。

(※) 路線ごとにデータを可視化し、改善ポイントを明確化

- ・幹線とフィーダー系統の並走解消
- ・利用率に応じたダイヤ改正(減便・廃止)
- ・市中心部以外の中学校区の増便 など



令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

豊川市地域公共交通会議

平成21年2月13日設置

フィーダー系統 平成30年6月 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>共通ゾーンや豊川市1日フリー乗車券の認知度向上を図り、利用促進事業を着実にを行い、利用者数が増加していることについて評価。また、路線バス探検キャラバンなど将来の利用者獲得に向けての利用促進策を着実に実施している点を評価。次期公共交通網形成計画の策定に向け、各種アンケート調査結果を活用した地域のニーズに合った路線体系、公共交通ネットワークが構築されることを期待。引き続き、認知度アップや広域幹線利用の利進に取り組むことを期待。</p>	<p>次期地域公共交通網形成計画策定のため、交通に関する現状の評価と課題の整理を行い、次期計画及び路線の方向性について検討。広域幹線の利用促進は、豊川市単独予算で、<u>コミュニティバスのみならず、豊鉄バス新豊線・豊川線（幹線）のG T F Sデータ作成についても新規で着手（令和2年3月公開予定）</u>するとともに、「夏休み路線バス探検キャラバン」、「夏休み小学生50円バス」、「豊鉄バス（幹線）地域密着型時刻表の配布協力」を継続実施。</p>	<p>各種アンケート調査結果などを踏まえて次期形成計画及び路線案を作成し、令和3年3月の計画策定及び令和3年10月からの新路線・新サービス水準での運行開始を目指し、公共交通会議で本格的な協議を開始するとともに、パブリックコメントや地元説明会等の各種調整に着手。また、左記幹線利用促進策を継続実施しつつ、幹線・フィーダー系統の並走解消などについて検討し、効率的で持続可能な公共交通ネットワークを再構築。</p>

【利用促進策】

(1) 標準的なバス情報フォーマット作成(新規)

- ・豊川市単独予算で、豊川市コミュニティバスだけでなく、豊鉄バス新豊線・豊川線(幹線)のGTFSデータ作成に着手。令和2年3月公開予定。

(2) 豊川市コミュニティバス体験乗車会・乗り方教室 (新規)

- ・「ジャンボタクシーの乗車方法等についての講義」、「ワークショップ形式でのマイ時刻表の作成」、「ジャンボタクシーの体験乗車会」の3部構成で乗り方教室を実施。



豊川市コミュニティバス乗り方教室の様子

(3) 幹線利用促進策の実施(継続)

- ・夏休み路線バス探検キャラバン
- ・夏休み小学生50円バス(※)
- ・幹線(豊鉄バス)の地域密着型時刻表の配布協力

- (※)参加特典として東三河7市町の体験型賞品が当たる整理券ラリーを合わせて実施。(新規)

50円バス期間中、東三河のバスに有料2回または無料3回乗車すると抽選で50名様にステキなプレゼント(2,000円以下)がもらえるよ!

QRコード:

トヨッキー賞	いなりん賞	のんすけ賞	とましー賞
① 動物えさやり体験 5名	① ジオスペース館プラネタリウム 利用券といなりんグッズ 6名	① 道の駅つくて手づくり村 ニジマスの佃みどり体験 6名	① 設楽ダム工事現場見学ツアー 6名
② のんぼいりキット 3名	② トトまる賞	② キャベゾウ賞	② 草木染め体験 2名
③ ナイトZoo入場券 2名	① 海辺の文学記念館 時手紙 2名	① 「たはら巡り〜」 田原市ならではのプログラム体験 6名	③ 木、草の小物づくり体験 2名
	② 蒲郡オレンジパーク 果物狩りと大福づくり体験 2名		④ オニスター賞
	③ 蒲郡海鮮市場 タコの茹で方体験 2名		① 東栄町交流センター千代姫荘 そば打ち・五平餅づくり体験 6名

夏休み小学生50円バスチラシ(抜粋) 整理券ラリー賞品

【調査・検討】

(1) デマンド型交通への転換シミュレーション

- ・既存バス路線をデマンドタクシーに転換した場合の収支シミュレーションを実施。

(2) 睦美・三上デマンドタクシー実証実験運行

- ・本市におけるデマンド型交通導入の可能性について調査することを目的とした実証実験運行を開始。(期間: 令和元年10月~令和2年3月)